

項目	課題の対応	札幌開発建設部		札幌管区気象台		旭川地方気象台		札幌建設管理部		空知総合振興局		旭川建設管理部		上川総合振興局		北海道電力		北海道警察			
		業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期		
1)情報伝達、避難計画等に関する事項	③	自治体との事前協議も含めた分かりやすい洪水予報伝達文への改良	C、K	・避難の切迫性が市町村や住民に伝わりやすい洪水予報伝達文へ改良(H28)	H28→R1	・避難の切迫性が市町村や住民に伝わりやすい洪水予報伝達文へ改良(H28)	H28→R2	・避難の切迫性が市町村や住民に伝わりやすい洪水予報伝達文へ改良(H28)	H28→R2												
	④	水位周知河川等に未指定の区間について、指定等を実施	D	H29.3に空知川幾寅地区を水位周知河川へ指定。引き続き未指定区間の指定等を検討予定。	H28→R3以降				・水位周知河川の追加指定について検討中 ・水位周知河川の未指定の河川において簡易な方法も活用して氾濫危険区域図及び河川水位等の情報を各自治体へ提供済	H29→R3以降			・水位周知河川の未指定の河川において簡易な方法も活用して氾濫危険区域図及び河川水位等の情報を提供	H29→R3以降							
	⑤	流域タイムラインを用いた洪水時の市町村機能確保する対策(対本部の移設等)の検討	F、H																		
	⑥	円滑に避難行動を実施するための避難計画の作成	N									・要配慮者の個別避難計画(モデルケース)作成に係る会議に参加(R01.5.25、6.25、11/12)	継続								
	⑦	情報伝達手段の多重化としてのコミュニティーFM放送等との連携の検討	J、K、L	・メディア連携協議会により、ハザードリスク情報の共有取組の検討(開発局)	R1→R3以降																
2)平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	①	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成と周知	D	・H29年4月までに想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成と各自治体への周知、HP公開が完了	H28→H29				・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成と各自治体への周知及びHPの公開	H29→R3以降			・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成と各自治体への周知及びHPの公開	H29→R3以降							
	②	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの改良と周知	D、E、F、G、I	・ハザードマップ改良に向けた技術的な支援を実施。	H28→H29	・気象庁HPの洪水警報の危険度分布に洪水想定浸水区域を重ね合わせて表示できるよう改善(R1.12)	R1→継続	・気象庁HPの洪水警報の危険度分布に洪水想定浸水区域を重ね合わせて表示できるよう改善(R1.12)	R1→継続												
	③	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまごまごハザードマップの改良と周知	D、E、F、G、I	・まごまごハザードマップの改良と周知の支援	H30→R3以降																
	④	水害リスクが高い箇所について、水防団、自治会等との共同点検を実施	D、Q	・平常時に自治体と共に水防団、自治会等と共同点検を実施	継続																
	⑤	警報・注意発表時の「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象になる可能性」の情報提供	B、K			平成29年5月17日から気象庁ホームページで提供開始。	H29→H29	平成29年5月17日から気象庁ホームページで提供開始。	H29→H29												
	⑥	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	A、D、E	・小学生を中心とした防災教育を引き続き実施予定 ・出前講座を通じた防災教育	継続	・小学校や中学校における学校防災教育や、自治体防災訓練に展示ブースを設置して防災情報の解説を実施。今後も継続して実施予定。 ・地方公共団体、地域防災リーダー及び市民を対象に、中小河川の氾濫を想定したワークショップを実施。今後も継続して実施予定(R1) ・eラーニング「大雨のときどう逃げる？」を気象庁HPで提供開始(R2.5)	継続 R1→継続 R2→継続	・小学校や中学校における学校防災教育や、自治体防災訓練に展示ブースを設置して防災情報の解説を実施。今後も継続して実施予定。 ・地方公共団体、地域防災リーダー及び市民を対象に、中小河川の氾濫を想定したワークショップを実施。今後も継続して実施予定(R1) ・eラーニング「大雨のときどう逃げる？」を気象庁HPで提供開始(R2.5)	継続 R1→継続 R2→継続			・地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。 ・地域防災マスター認定研修実施(R1.8.25)	継続	・地域の要望等を踏まえながら開発局、気象台と共に取り組んで行く。 ・Doはくマスター養成研修の実施(H29.H30.R1) ・1日防災学校の企画・実施支援(H30.R1) ・市町村が実施する住民を対象とした訓練・研修・講演会への支援(H30.R1) ・地域防災マスター認定研修会(R2予定)	継続				災害警備訓練への住民参加や各種広報活動を通じ、地域の災害対処能力を高める取組を実施	継続	
	⑦	自治体首長が参加する水防訓練を実施し、その実施結果を踏まえた流域タイムライン等の見直し・修正	C、O																		
	⑧	全ての流域市町村の職員を対象とした「豪雨災害対策研修」の継続実施	A、O	・全ての流域市町村の職員を対象とした「豪雨災害対策研修」の継続実施	継続	・全ての流域市町村の職員を対象とした「豪雨災害対策研修」の継続実施	継続	・全ての流域市町村の職員を対象とした「豪雨災害対策研修」の継続実施	継続			・石狩川流域圏会議による豪雨災害対策職員研修のサポートを実施。	継続	・石狩川流域圏会議による豪雨災害対策職員研修のサポートを実施。	継続						
	⑨	住民の水防意識啓発のため、S56洪水等の広報の充実	A	・HPに洪水に関する広報掲載。	継続							関係機関と協力して対応する。 HPに56災害時の数値的記録を掲載。	継続	関係機関と協力して対応する。	継続						
	⑩	ダム警戒体制に関する地元関係者への周知	K	・ダムからの初期放流時は警報装置の吹鳴、警報車による河川ハットロール。地元地域へ放流開始、洪水等に通知。	継続				・ダムからの初期放流時は警報装置の吹鳴、警報車による河川ハットロール。地元地域へ放流開始、洪水等に通知	継続								・ダム警戒体制に関する地元関係者への周知	継続		

項目	課題の対応	札幌開発建設部		札幌管区气象台		旭川地方气象台		札幌建設管理部		空知総合振興局		旭川建設管理部		上川総合振興局		北海道電力		北海道警察		
		業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	
(2) 多数の箇所での長期間の活動に備える社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組																				
1)水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組	①	市町村向け川の防災情報による河川水位や排水ポンプ場情報の共有	P	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報の共有	継続															
	②	水防団等との共同点検等の実施及び重要水防箇所の精査・見直し	Q	水防団等との共同点検等の実施及び重要水防箇所の精査・見直し	継続															
	③	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	D																	
	④	流域タイムラインを活用した水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施や多様な主体による水防活動の検討	C、S																	
	⑤	水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	S	関係機関と連携した水防訓練及び水防技術講習会の実施	継続															水防訓練への参加を通じた対処能力の向上と関係機関との連携
	⑥	広報や勧誘などの活動による水防団員数の確保	M																	
2)要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組	①	流域タイムラインを活用した要配慮者利用施設と連携した情報伝達訓練や避難訓練の検討及び要配慮者利用施設における避難確保計画の作成に向けた支援の検討	N	要配慮者利用施設における避難計画、学校における避難確保計画の作成に関わる情報提供		H29→R3以降													要配慮者利用施設の管理者と連携し、図上訓練や実動の避難訓練等を通して災害対処能力を高める取組を実施	
	②	要配慮者利用施設、大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	N	浸水リスクの説明、水害対策等の啓発活動の継続		H28→R3以降														継続
(3) 広域かつ長期の浸水被害に対する社会経済活動の早期復旧のための取組																				
1)排水活動の強化に関する取組	①	市町村向け川の防災情報による排水ポンプ場情報の共有	P	市町村向け川の防災情報による排水ポンプ場情報の共有	継続															
	②	想定最大規模の洪水を想定した排水計画の検討	T、U、V	石狩川流域における想定最大規模の洪水を想定した排水計画の検討		H30→R3以降														
	③	排水ポンプ車等による訓練の実施	U	排水ポンプ車等による訓練の実施	継続															
2)緊急的な災害復旧工事に取組強化	①	堤防決壊シミュレーションによる現地条件を考慮した効果的な災害復旧方法の検討	W	堤防決壊シミュレーションによる現地条件を考慮した効果的な災害復旧方法の検討	継続															
	②	堤防決壊シミュレーションにおける堤防天端を活用した緊急輸送路の活用検討	W	堤防決壊シミュレーションにおける堤防天端を活用した緊急輸送路の活用検討	継続															

概ね5年で実施する取組 (雨竜川外地域部会)

該当無し - 未実施・今後取組予定(検討中)

項目	課題の対応	滝川市		砂川市		深川市		奈井江町		浦臼町		新十津川町		妹背牛町		秩父別町			
		業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期		
1・ハード対策の主な取組																			
1)洪水氾濫を未然に防ぐ対策	①~⑤	堤防整備、河道掘削、河道内伐木、流域貯留施設整備、遊水地整備、幾春別川ダムの早期完成等	W																
2)大規模水害による壊滅的な被害を軽減する対策	①	各河川での危機管理型ハード対策の実施(堤防天端の保護、堤防法尻の補強)	W																
3)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	①	住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報を提供するためのシステム構築	J、K																
	②	洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	J、K																
	③	防災行政無線の改良や防災ラジオ等の活用検討	J、K、P	・町連協の自動起動FM防災ラジオの購入支援 ・FM災害時放送強化(完了)	H29→H30 H30→R1(完了)	-	-	-	・防災行政無線(デジタル移動系)のR2整備、R3運用開始 ・防災行政無線(同報系)の整備検討	R2→R3以降	防災行政無線(全戸)のアナログからデジタル化への移行	R2予定→R3予定	・防災行政無線(アナログ)全戸配付済み ・防災行政無線デジタル化への移行	H9→R1→R3以降	・防災行政無線の改良について移動系のデジタル化 ・同報系設備の新設	R3→R2実施 R3予定→R3以降	・防災行政無線の更新(アナログ→デジタル)	R2年度中完了予定	
	④	水害リスクが高い箇所に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計の整備	C																
	⑤	迅速な水防活動を支援するための水防資機材の整備	R	・迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材の整備	H28→R3以降	・排水ポンプの点検	継続	・迅速な水防活動を実施するための水防資機材の整備 ・排水ポンプを日々作動確認をし整備を実施	継続	・緊急排水用水中ポンプ(200mm)2台に加えR2~R3各1台整備 ・土嚢等の備蓄資材	R2→R3継続	・迅速な水防活動を実施するため、内水排水ポンプ及び非常用発電機等の水防資機材の整備	継続	・急排の建屋完成済 ・排水機場の適正な維持管理	継続	・迅速な水防活動を支援するため、水防資機材の整備	継続	・迅速な水防活動を支援するため、排水用ポンプ、土のう等の水防資機材の整備	継続
	⑥	水防活動等の迅速化、水害対策に活用出来るハードの整備	S、W	・Jアラート新型受信機の導入 ・防災無線(移動系)デジタル化工事	H30→H30完了 R1→R2着工中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

2・ソフト対策の主な取組

(1)大規模な洪水氾濫に対して、広域的な連携を含む円滑かつ確実な

①	避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成	C	・本格導入に向けて準備検討	H30→H30	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	H29→H29	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	H29→H29	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	H29→H29	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	H29→H29	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済(更新)	H29年→R1	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	H29→R2以降	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	R2以降
②	洪水が広範囲に及ぶ想定最大規模の洪水等を考慮した流域タイムラインを作成し、隣接した市町村の境界を越えた広域避難の計画や情報伝達について検討	C	・情報伝達、避難計画及び近隣市町村との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	H28→R3以降	・情報伝達、避難計画及び近隣市町村との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R1→R3以降	・情報伝達、避難計画及び近隣市町村との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R2以降→	・情報伝達、避難計画及び近隣市町村との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R1→	・情報伝達、避難計画及び近隣市町村との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R2→R3以降	・情報伝達、避難計画及び近隣市町村との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R1→R3以降	・情報伝達、避難計画及び近隣市町村との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R2以降→R3以降	・情報伝達、避難計画及び近隣市町村との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R2以降

概ね5年で実施する取組（雨竜川外地域部会）

項目	課題の対応	滝川市		砂川市		深川市		奈井江町		浦臼町		新十津川町		妹背牛町		秩父別町			
		業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期		
(2) 多数の箇所での長期間の活動に備える社会経済被害軽減のため																			
1) 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組	①	市町村向け川の防災情報による河川水位や排水ポンプ場情報の共有	P	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中 ※水防防災ランチャーのモデル事業	H28→R3以降	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中	継続		
	②	水防団等との共同点検等の実施及び重要水防箇所の精査・見直し	Q	水防団等との共同点検等の実施を予定	H28→R3以降	水防団等との共同点検等の実施を予定	R1→R3以降	水防団等との共同点検等の実施を予定	R1以降→	水防団等との共同点検等の実施を予定	R1→	水防団等との共同点検等の実施を予定	R1→R3以降	水防団等との共同点検等の実施を予定	継続	町建設業協会(災害時協定)との重要防災箇所の確認及び災害時行動確認	R2以降→R3以降	水防団等との共同点検等の実施を予定	R2以降
	③	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	D	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいて地域防災計画に図面を入れた。また浸水想定区域にある指定緊急避難場所の指定を変更した。	H31→R3以降	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	H29→R3以降	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	R2以降→	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	H30→	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	H30→R3以降	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	H29→	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	R2以降→R3以降	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	R2以降
	④	流域タイムラインを活用した水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施や多様な主体による水防活動の検討	C、S	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	H28→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R2以降→	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R2以降→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R2以降
	⑤	水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	S	水害を想定した防災訓練(H30.8.18)にて連携した取組を実施	H28→R3以降	地域防災訓練にて連携した取組を実施	H30→R3以降	防災訓練を通じて連携した取組を実施	継続	総合防災訓練にて関係機関と連携した取組をR3実施予定	R3→R3	水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	継続	総合防災訓練(R3.8.29)にて連携した取組を実施	継続	消防団・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施予定	R2以降→R3以降	秩父別町防災訓練にて連携した取組を実施	継続
	⑥	広報や勧誘などの活動による水防団員数の確保	M	-	-	-	水防団員数の確保に向け、現職団員による勧誘やポスター等による周知	継続	水防団員数の確保	継続	ポスター掲示や関係機関と連携した水防団活動等を周知し、水防団員の確保を図る。	継続	救急排水場及び排水機場を運営する水防団員を確保するため、町建設協会に依頼するとともに広報誌等で周知	継続	消防と連携し、事業所や地域住民に加入を働きかけ水防団員数を確保	継続	若者への水防団員勧誘	継続	
2) 要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組	①	流域タイムラインを活用した要配慮者利用施設と連携した情報伝達訓練や避難訓練の検討及び要配慮者利用施設における避難確保計画の作成に向けた支援の検討	N	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	H28→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R2以降→	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R2以降→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R2以降
	②	要配慮者利用施設、大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	N	-	-	-	-	-	-	-	-	-	各施設の避難計画の作成支援 福祉施設の防災研修の推進	継続	-	-	-	-	
(3) 広域かつ長期の浸水被害に対する社会経済活動の早期復旧のため																			
1) 排水活動の強化に関する取組	①	市町村向け川の防災情報による排水ポンプ場情報の共有	P	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	H28→R3以降	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	継続		
	②	想定最大規模の洪水を想定した排水計画の検討	T、U、V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	③	排水ポンプ車等による訓練の実施	U	江部乙救急排水機場のポンプ排水訓練を実施(江部乙救急排水施設(江部乙川13号樋門))	H28→R3以降	排水ポンプ車等による訓練の実施 場所: 豊沼5号樋門 機械: 排水ポンプ	継続	深川排水機場、排水ポンプ訓練の実施	継続	奈井江・高島の各排水機場のポンプ排水訓練の実施 場所: 奈井江13号樋門 ・ 茶志内4号樋門	継続	関係機関と連携した排水訓練等の実施	継続	6月に新十津川、下徳富、袋地3箇所の救急排水機場のポンプ排水訓練を実施	継続	6月に千秋救急排水機場のポンプ排水訓練を実施	継続	排水ポンプ車等による訓練を秩父別町5条1丁目第一幹線水路にて実施	継続
2) 緊急的な災害復旧工事にに向けた取組強化	①	堤防決壊シミュレーションによる現地条件を考慮した効果的な災害復旧方法の検討	W	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	②	堤防決壊シミュレーションにおける堤防天端を活用した緊急輸送路の活用検討	W	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

概ね5年で実施する取組（雨竜川外地域部会）

該当無し
-
未実施:今後取組予定(検討中)

項目	課題の対応	雨竜町		北竜町		沼田町		幌加内町		上砂川町		歌志内市		
		業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	
1・ハード対策の主な取組														
1)洪水氾濫を未然に防ぐ対策	①~⑤	堤防整備、河道掘削、河道内伐木、流域貯留施設整備、遊水地整備、幾春別川ダム of 早期完成等	W											
2)大規模水害による壊滅的な被害を軽減する対策	①	各河川での危機管理型ハード対策の実施(堤防天端の保護、堤防法尻の補強)	W											
3)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	①	住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報を提供するためのシステム構築	J、K											
	②	洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	J、K											
	③	防災行政無線の改良や防災ラジオ等の活用検討	J、K、P	-	-	・情報伝達手段の多重化検討(防災行政無線更新 R2アナログ→デジタル)	R1→R3以降	-	-	-	-	-	-	
	④	水害リスクが高い箇所に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計の整備	C											
	⑤	迅速な水防活動を支援するための水防資機材の整備	R	・庁舎裏に設置した車庫内に防災資材庫を設置し、防災備蓄品を保管	継続	・迅速な水防活動を支援するため、水防資機材の整備	継続	・迅速な水防活動を支援するため、水防資機材の整備	継続	・迅速な水防活動を支援するため、水防資機材の整備	継続	・市内10カ所に土のうステーションを設置し迅速な対応を行うための整備を行った。(平成30年度2カ所追加)	H29→H30	
	⑥	水防活動等の迅速化、水害対策に活用出来るハードの整備	S、W	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2・ソフト対策の主な取組														
(1)大規模な洪水氾濫に対して、広域的な連携を含む円滑かつ確実な														
①	避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成	C	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	H29→H29	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	H29→R1以降	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	H29→H29	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	H29	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	R1→R1	・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成済	H30→R3以降
	洪水が広範囲に及ぶ想定最大規模の洪水等を考慮した流域タイムラインを作成し、隣接した市町村の境界を越えた広域避難の計画や情報伝達について検討	C	・情報伝達、避難計画及び近隣市町との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R1→R3以降	・情報伝達、避難計画及び近隣市町との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R1→R3以降	・情報伝達、避難計画及び近隣市町との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R2以降	・情報伝達、避難計画及び近隣市町との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R3以降	・情報伝達、避難計画及び近隣市町との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R1→R3以降	・情報伝達、避難計画及び近隣市町との広域避難や連携に関する流域タイムラインの作成への参画を予定	R1→R3以降

概ね5年で実施する取組（雨竜川外地域部会）

項目	課題の対応	雨竜町		北竜町		沼田町		幌加内町		上砂川町		歌志内市	
		業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期
1)情報伝達、避難計画等に関する事項	③	自治体との事前協議も含めた分かりやすい洪水予報伝達文への改良	C、K										
	④	水位周知河川等に未指定の区間について、指定等を実施	D										
	⑤	流域タイムラインを用いた洪水時の市町村機能確保する対策(対本部の移設等)の検討	F、H	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R1→R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R1→R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R2→R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R1→R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R1→R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R1→R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R1→R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R1→R3以降
	⑥	円滑に避難行動を実施するための避難計画の作成	N	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	⑦	情報伝達手段の多重化としてのコミュニティFM放送等との連携の検討	J、K、L	-	-	-	-	・HPやスマートフォンアプリを通じての情報伝達 ・広報車などにより情報伝達	継続	・HPを通じての情報伝達 ・広報車などにより情報伝達 ・登録制メールを活用した情報伝達	継続	・災害の情報をHPを通じて伝達している。 ・防災無線、広報車などにより情報伝達している。 ・登録制メールを活用し情報伝達している。	継続
2)平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	①	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成と周知	D										
	②	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの改良と周知	D、E、F、G、I	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの改良と周知の予定 H29着手→R2完了	・平成30年3月に改良及び周知済み H29→H30	・令和2年10月に改良し、同月に全戸配布済み R2	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの改良及び周知済み R2	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの改良と周知の予定 H30→R3以降	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの改良と周知の予定 R2着手→R2完了				
	③	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの改良と周知	D、E、F、G、I	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの改良と周知 H30→R3以降	-	-	-	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるごとまちごとハザードマップの改良と周知 R3以降	-	-	-	-	
	④	水害リスクが高い箇所について、水防団、自治会等との共同点検を実施	D、Q	・水害リスクが高い箇所の共同点検実施予定 R1→R3以降	・町防災担当、町建設課、消防北竜支署で水害リスクが高い箇所の共同点検を実施 継続	・共生地区において沼田消防団と実施 継続	・幌加内、長留内、振興計6箇所、自治会長と現地確認 継続	・水害リスクが高い箇所の共同点検実施予定 R1→R3以降	・水害リスクが高い箇所の共同点検実施予定 R1→R3以降				
	⑤	警報・注意発表時の「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象になる可能性」の情報提供	B、K										
	⑥	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	A、D、E	・地域の実情に合わせた防災訓練を隔年実施。 継続	・地域の実情に合わせた防災訓練を実施。 継続	・平成27年度から毎年防災研修会を実施。R1は沼田町健康福祉総合センターを避難所と想定した「沼田町防災研修」を実施。 継続	・地域防災訓練の実施 ・災害対策懇談会の実施 継続	・自主防災組織の組織化のための説明会の実施 ・自主防災組織の組織化に向けた施策の実施 R2→R3以降	・地域防災訓練の実施 継続				
	⑦	自治体首長が参加する水防訓練を実施し、その実施結果を踏まえた流域タイムライン等の見直し・修正	C、O	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R1→R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R1→R3以降	・自治体首長が参加する水防訓練を実施 R2以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R1→R3以降	・流域タイムライン作成状況みつつか検討予定 R1→R3以降				
	⑧	全ての流域市町村の職員を対象とした「豪雨災害対策研修」の継続実施	A、O	・「豪雨災害対策研修」(7月)に職員を派遣 継続	・「豪雨災害対策研修」に職員を派遣 継続	・「豪雨災害対策研修」(7月)に職員を派遣 継続	・「豪雨災害対策研修」(7月)に職員を派遣 継続	・「豪雨災害対策研修」に職員を派遣 継続	・平成31年以降職員派遣予定 R1→R3以降				
	⑨	住民の水防意識啓発のため、S56洪水等の広報の充実	A	・住民の水防意識啓発のため、S56洪水等の広報の充実 H30→R3以降	・住民の水防意識啓発のため、S56洪水等の町広報紙等を通じて実施 H28→R3以降	・広報誌または防災訓練に合わせた周知を実施 継続	・住民の水防意識啓発のため広報で住民へ周知 継続	・住民の水防意識啓発のため、S56洪水等の広報の充実 継続	・住民の水防意識啓発のため、S56洪水等の広報の充実 H28→R3以降				
	⑩	ダム警戒体制に関する地元関係者への周知	K	・ダム警戒体制に関する地元関係者への周知 継続	・ダム警戒体制に関する地元関係者への周知 継続	・広報紙により周知を実施 継続	・災害対策懇談会の実施 継続						

該当無し - 未実施:今後取組予定(検討中)

概ね5年で実施する取組（雨竜川外地域部会）

該当無し
-
未実施:今後取組予定(検討中)

項目	課題の対応	雨竜町		北竜町		沼田町		幌加内町		上砂川町		歌志内市		
		業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	
(2) 多数の箇所での長期間の活動に備える社会経済被害軽減のため														
1) 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組	①	市町村向け川の防災情報による河川水位や排水ポンプ場情報の共有	P	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水や外水情報を活用中	継続	
	②	水防団等との共同点検等の実施及び重要水防箇所の精査・見直し	Q	水防団等との共同点検等の実施を予定	R1→R3以降	水防団等との共同点検等の実施を予定	R1→R3以降	水防団等との共同点検等の実施を予定	R2以降	水防団等との共同点検等の実施を予定	R3以降	-	-	
	③	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	D	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	H30→R3以降	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	H30→R3以降	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	R2以降	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	R3以降	-	-	
	④	流域タイムラインを活用した水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施や多様な主体による水防活動の検討	C、S	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	H30→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→R3以降	水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	R2以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定
	⑤	水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	S	水防団・町内会組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	継続	水防団・町内会組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	継続	沼田町防災訓練(H30.7.12)にて連携した取組を実施	継続	災害時避難訓練にて連携した取組を実施 職員による土のう製作訓練	R3以降	-	-	合同非常招集訓練と連携した避難訓練(R1.9.2)に市・消防署・水防団・町内会・歌志内市赤十字奉仕団・食生活改善推進員が連携し防災訓練を実施
	⑥	広報や勧誘などの活動による水防団員数の確保	M	関係機関と連携し水防団活動等の重要性を伝え、水防団員の確保を図る	H30→R3以降	関係機関と連携し水防団活動等の重要性を伝え、若者への団員勧誘。	継続	-	-	水防団員数の確保については、消防団員と兼務している状況で、併せて募集に取り組んでいる状況。支援の強化については、検討中	R3以降	-	-	-
2) 要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組	①	流域タイムラインを活用した要配慮者利用施設と連携した情報伝達訓練や避難訓練の検討及び要配慮者利用施設における避難確保計画の作成に向けた支援の検討	N	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→R3以降	要配慮者利用施設と連携した情報伝達訓練や避難訓練の実施	R2以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R3以降	流域タイムライン作成状況をみつつ検討予定	R1→R3以降	
	②	要配慮者利用施設、大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	N	-	-	-	-	沼田町災害時要援護者避難支援計画に基づく支援	継続	-	-	-	-	
(3) 広域かつ長期の浸水被害に対する社会経済活動の早期復旧のため														
1) 排水活動の強化に関する取組	①	市町村向け川の防災情報による排水ポンプ場情報の共有	P	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	継続	市町村向け川の防災情報による内水情報を活用中	継続	
	②	想定最大規模の洪水を想定した排水計画の検討	T、U、V	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	③	排水ポンプ車等による訓練の実施	U	排水ポンプ車等による訓練の実施を予定	R1→R3以降	排水ポンプ車等による訓練の実施を予定	継続	北竜地区において排水機場ポンプを利用した訓練を実施	継続	排水ポンプ車等による訓練実施の検討予定	R3以降	-	-	排水ポンプ車等による訓練実施の検討予定
2) 緊急的な災害復旧工事に向けた取組強化	①	堤防決壊シミュレーションによる現地条件を考慮した効果的な災害復旧方法の検討	W	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	②	堤防決壊シミュレーションにおける堤防天端を活用した緊急輸送路の活用検討	W	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	